

早はこえろわきの

ゆあし 二れいい

うちわ その

かべに 大きいのかあ

とかべに つけろろのを

さうさと はずして持てく

草の葉や枝を 手で取ると 雨のうちわ

後甲していの

何れ それも いいじやあ

あずさしい

とりの部屋にあまの

と とりに行きそうに

身うちでも 何でもなとて

それが去来の人

あかるくていい

困るあ

と二通りあ

仕事は心と通りするもの

はしあかう 終りあ 「悪言」

勝手 自分の見つけと 「突然言」

おれ たい

これが たいの

やわろ たい じやないの

まゆりは 年とらてい 若い

自分の 年合を 基準としてい

年より たい こと ないから

あかう たい の 所なり なる

若い人が 年より の せわを する

年合の たい なる

たいも いうも 自分を 基準と する

介設 たい たい たい

26 24
7/29